

かぞへ

公立羽咋病院広報誌 2011 第36号



病院理念

人にやさしく 信頼される病院

基本方針

私たちは 皆様の権利や意思を尊重し、納得のいく医療を提供いたします。
私たちは 地域に必要な医療を提供し、健やかで豊かな地域社会の実現を目指します。
私たちは 安全で良質な医療を提供するため、日々研鑽いたします。

日本医療機能評価機構認定病院
羽咋郡市広域圏事務組合

は く い
公立羽咋病院

〒925-8502 石川県羽咋市の場町松崎24番地
TEL(0767)22-1220 FAX(0767)22-5598
<http://www.hakuihp.jp/> E-mail:hakuihsp@po.incl.ne.jp

夏に気をつけたい皮膚科の病気

皮膚科医師 林 裕子

【みずむし】 —蒸れたままにしないこと—

みずむし（正式病名：足白癬（あしはくせん））はカビの菌の一種である白癬菌（はくせんきん）が足の皮膚に感染するためにおこる皮膚病です。

白癬菌に感染すると、皮膚の皮がむける、角質がぶ厚くなる、小さな水ぶくれができる、じくじくする、かゆくなるなどの症状が出てきます。指の間などじくつきが強いと、そこから細菌（化膿菌）が進入し、2次感染を起こして赤く腫れたり、痛くなったりすることがあります。また、爪にも白癬菌が感染することがあり、「爪みずむし」と言って、爪が白色～黄色～灰色に濁ったり、爪がぶ厚くなる、爪がぼろぼろにもろく取れたり、爪が湾曲するなどの症状が出ます。

治療は抗真菌剤（カビを治す薬）のぬり薬で治療します。ぬり薬は見た目がきれいになっても、1ヶ月くらいは続けたほうが治療効果があがります。爪みずむしの場合も、まずはぬり薬で治療を行いますが、ぬり薬でも効果がない場合のみ薬で治療を行います。のみ薬は6ヶ月～1年間ほど飲む必要があります。ただしのみ薬は副作用として肝臓に炎症がおきたり血液の成分の1つである白血球に異常が出たりすることがあるため、毎回血液の検査をしながら飲んでいただきます。

原因菌である白癬菌はカビの菌ですので、一般にカビの菌はジメジメした多湿な環境を好んで繁殖します。したがって、多湿な季節（夏の間）、多湿な環境（蒸れやすい・汗をよくかく箇所：足、股、おしり、わきの下など）で皮膚に感染しやすくなるため、汗をかいたらすぐに着替える、入浴・シャワーで石けんできれいに洗う、乾燥させるなど、蒸れたままの状態であることのないようにしておくことが大切です。また、お風呂の足ふきマットやスリッパなどを介して白癬菌が伝播しやすくなります。



【ハチさされ】 —2回目から要注意—

ハチさされは、ミツバチ、アシナガバチ、ハキリバチ、スズメバチなどのハチに刺されることにより生じます。ハチ毒によって刺された部位の皮膚が、痛くなる、赤く腫れる、水疱になるなどの症状がでてきます。また稀ですが、ハチ毒に対する全身性のアレルギー反応が出て、じんましん、めまい、吐き気、呼吸困難などの全身症状を伴うことがあり、重症の人では血圧低下、息ができないなどのショック症状となり死亡する例があります（死亡例：全国で年間50例ほど）。

ハチさされでも、初めてハチにさされた場合（初回）は特に問題なく、刺された部位の皮膚が腫れる程度ですみ、全身症状が出ることはありません。しかし2回目以降からは、体質にもよりますがアレルギー反応を併発する人もいて、上記のような全身症状を伴う可能性があります。過去に1回でも刺されたことのある方は、全身性のアレルギー症状が出る可能性もあるので、なるべく早期に医療機関で受診されることが望まれます（全身性のアレルギー症状は、刺された直後～30分以内に発症することがほとんどです）。

治療は、症状にもよりますが、軽症だとステロイドのぬり薬と腫れ止めや痛み止めなどののみ薬になります。腫れが強い場合や、アレルギー反応で全身症状を伴う場合はステロイドののみ薬や点滴注射などで治療します。しかし、まずはハチに刺されないように心がけることが大事ですので、山などハチに刺されやすい場所に出かける場合は、虫除けスプレーや、帽子着用、軽装を避けるなどして、かつ、ハチやハチの巣を見かけたらまず近寄らないことが大切です。



連携医療機関のご紹介

はじめまして。昨年、所長になった横山です。いつも羽咋病院には、検査や入院でお世話になっております。羽咋病院がこの地域の基幹病院としてさらに住民に信頼され、発展していくことを願っています。

当診療所は今年、創立 30 周年です。1981 年 12 月に石川民医連の能登地域最初の医療機関として設立。当時、職員は所長、事務、看護師の 4-5 人でした。現在、介護相談センター羽咋（ケアマネ 4 名）、通所リハほのぼの（職員数 11 人）、NPO 法人「たすけ愛」（配食・移送サービスボランティア 13 人）など、地域のニーズに合う組織に成長しています。今後とも宜しく願います。

所長 横山 隆

(法) 石川県勤労者医療協会羽咋診療所

住 所 羽咋市柳橋町堂田 53-1

電 話 22 - 5652

診療科 内科、小児科



今年も自分の専門以外の他部所研修を行いました



手術室・栄養科

手術室では、人工膝関節置換術を見学しました。手術では、医師、麻酔科医師、器械出しの看護師、外回りの看護師、記録の看護師が手術をスムーズに進めるために連携して行っていると感じました。手術では、各自の職種の専門性が必要であり、また、手術の流れをとめることがないように、協力して行うことがチーム医療として大切ということ学びました。今後、作業療法士の専門性を活かし、他職種と情報交換を積極的に行い、患者様に医療を提供していきたいと思ひます。 作業療法士 迎谷 ルミ子

デイケア・4階病棟

二日間にわたって、デイケアと病棟で体験を行いました。デイケアでは、利用者さんが自主的に運動していた姿がとても印象に残りました。集団で行う運動では、「他の人がいるから、励みになる」という言葉を聞くことができ、地域での当院デイケアの役割を実感することができました。

利用者のご自宅を訪問し、退院後の患者様の生活・活動の状況を確認することができました。入院中から、退院後の生活のイメージを持てるよう、介入していくことが必要であると感じました。今後も、ソーシャルワーカーとして、地域との連携を密にしていきたいと思ひます。

社会福祉士 中村 麻有子



栄養科・放射線科

今回私は、栄養科と放射線科に他部署研修として参加しました。普段はなかなか入ることのない調理場やMRI、心カテ室に入ることができ、とても新鮮な気持ちで研修ができたように感じます。

一番感じたことは、職員の方々はみな、決められた時間の中で食事の準備をしたり検査を行うために部署間で話し合いをして情報を共有したり先生が来られる前に物品の準備をしたりこれだけでいか皆で確認したりと万全の体制を整えて患者さんをお迎えしていたことです。検査に向かうのが遅れたり、食札がないとそれだけで時間がかかってしまい業務が遅れてしまいます。私はこの他部署研修で、少しでも業務がスムーズに行えるよう自分自身意識して取り組みたいと思うようになりました。忙しい業務の中で親切に指導して下さった職員の方々にとても感謝をしています。ありがとうございます。 看護師 伊藤 梢



総務課・放射線科

今まで他部署は、私にとって別世界というイメージが強かったが、研修を終えた今は、少し身近な存在になった気がします。院内には、様々な職種の職員がいて、それぞれの職種毎に専門性を高め質を向上させる事は勿論大切な事だと思いますが、職員一人一人が病院全体を見て、自分の立ち位置や役割を考えて行動し、互いに連携しあっていくことが大切だと感じました。 看護師 古川 絵奈



羽咋病院看護部紹介

総看護師長 嵐 公江

看護部は、病院の理念【人にやさしく、信頼される病院】のもとに【やさしさと、豊かな人間性で、患者様の主体性を尊重した看護の実践】の理念を掲げ看護の提供を行っています。

6月の看護職員数は臨時職員も合わせて看護師126名、看護補助者15名です。(昨今の看護師不足により、随時募集を行っており人員の変動はあります。24年度の看護師募集も行っています！)

業務を行っている部署は、入院の看護単位として4病棟があります。4階病棟は内科と在宅への退院準備を行うための亜急性期病室、3階病棟は内科・形成外科、2階病棟は整形外科・脳外科・小児科、2階東病棟は外科・眼科・泌尿器外科・内科の患者様の入院生活を主に看させていただきます。

外来診療部門は、各科の診療補助業務と合わせ看護の専門として外来患者様の指導・処置等をさせていただきます。血液浄化センターでは10名の看護師が72名の患者様の透析業務を行い、手術室には6名の看護師が、年間約1000件の手術介助を行っています。

また、羽咋病院の窓口として設置されている医療サービス推進室には病診連携担当看護師、退院支援看護師を配置しており、医療安全管理者として病院全体の医療の安全な提供を管理している看護師など、院内の各部署で仕事を行っています。スタッフはそれぞれの部署で、日々患者様の身近にいて患者様の思いに沿った看護を行いたいと頑張っております。

看護の専門家としては、各種研修や講義に参加し、8分野において27名の看護師がいろいろな資格を取り活動を行っています。また、患者様に安全で良質な医療を提供するために、病院職員と協力し、委員会、チーム会やワーキンググループに所属し、看護師として全員が活動を行っています。

入院患者様には、退院時に入院生活についてのアンケートをお願いしております。看護部としては退院患者様の85%以上の方々の提出をしてもらうことを目標に、そして頂いた患者様からのご意見をもとに改善を行っています。ご協力お願いいたします。

まだまだご不満のお声も多数ありますが、看護師長を中心に、患者様に専門職として安全な看護・満足していただける看護の実践ができるよう日々研鑽を行っていきたく思っております。

当院の看護師長



嵐総看護師長

新採職員紹介

よろしくおねがいします

看護師 奥森 恵



6月より、中央材料室・手術室に勤務させていただいています。分からないことばかりでスタッフの皆様にはご迷惑をおかけしています。一生懸命頑張っていきますのでよろしくお願い致します。

看護師 高瀬 慶子



新しく2階病棟に配属となった高瀬です。

慣れない環境のため皆様に助けられて日々過ごしております。ここは優秀な看護師の方が多く「看護とは何か？」の原点からご指導して頂いておりとても勉強になっております。一日でも早くご指導に答えられるように努力いたします。至らない点がおおくご迷惑かけますがよろしくお願い致します。

看護をもっと知ろう ～看護週間行なわれる～

看護週間の一貫として、今年もふれあいイベントを開催させて頂きました。

近年、口の清潔は虫歯や歯周病の予防だけではなく、肺炎や心臓病、糖尿病等の全身の健康に影響がある事が明らかになりました。また、被災地でも口の清潔が問題になっていると言われています。そこで今回は《口から始まる健康》をテーマに、「口の清潔コーナー」「糖尿病コーナー」「AED コーナー」の三つを設け、約 60 名の方が御参加下さいました。

「口の清潔コーナー」では、やはり口の清潔の重要性に対する認知度は低く、一人でも多くの方に、口の清潔の重要性を知って頂く事が出来て嬉しく思います。また、「糖尿病コーナー」では、血糖チェックや、低カロリー食品の配付、栄養・運動相談を行いました。血糖値を気にされる方が多く、糖尿病への関心の高い事がわかりました。「AED コーナー」では、患者に見立てた人形を用い、心臓マッサージや AED の使用を体験して頂きました。興味はあるが体験する機会がなく、体験出来て良かったとお声を多く頂きました。今後も、皆様に健康な生活を送って頂けますようお手伝いさせて頂きたいと思っております。皆様、是非お口を清潔にし、健康な日々をお過ごし下さい。 血液浄化センター 主任看護師 西村 由記

看護ふれあいイベント (5月10日) ～健康な生活を送ってね～



ふれあい看護体験 (5月11日) 看護体験の学生さんと過ごして

今回は、日頃行う看護ケアを1日の業務の流れに沿いつつ体験してもらいました。学生さんが積極的に質問したり、患者様に笑顔で元気よく挨拶したりしている様子を見てとても感心しました。それと同時に活力を分けてもらったように感じました。1日という短い時間の体験でしたが、少しでも得るものがあったのなら幸いです。

4階病棟 看護師 松田 由紀



看護体験に参加して
宝達高校 3年

宮下 彩夏

私は高校2年の時に看護師という職業に少し興味がありました。3年生になって、学校でふれあい体験があることを聞き是非参加して看護について知りたいと思いました。体験ではおばあさんの足を洗わせてもらいました。他にも様々な仕事を体験できて、看護についてますます勉強したいと思いました。



21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を私達一人ひとりが分かち合う事が必要です。こうした心を、老若男女を問わず誰もが育むきっかけとなるようフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、1990年に5月12日が「看護の日」に制定されました。毎年、「看護の心をみんなの心に」をメインテーマに全国各地でいろいろな行事が行われています。

当院でも「看護の日」を記念して、千里浜保育所の園児20名が当院看護師手作りの白衣とナースキャップに身を包み、看護体験を行いました。新生児と同じ3kgの体重の人形を抱っこしたり、オムツを変えたり、また、聴診器を使って友達の心臓の音を聞いたり、傷の手当てについても勉強しました。「重たいなあ。」と苦笑する子、「家にも赤ちゃんが居るよ。」と言いながら本当の赤ちゃんのように抱く姿は、お兄さんやお姉さんの表情に変わり、相手を愛おしく、大切にしている気持ちにあふれていました。また、聴診器や包帯を手にする、プチナースに変身し「ドクン・ドクンって聞こえた。」「自分の心臓の音も聞こえた。」と生き生きとした表情で話をしてくれました。

短い時間でしたが、初めての体験に臆することなく積極的に取り組む子供達の姿を見てエネルギーを感じることが出来、私達にも良い刺激になりました。子供達にとってこの体験が、家族や友達を大切にする気持ちを育むきっかけとなり、さらにプチナースから未来の看護師として看護する心に通じて欲しいと思いました。

2階東病棟 看護師長 田島 雅世

プチナースふれあい訪問 (5月12日) ～ドクン・ドクン 聞こえたよ～



職員募集

1. 職種、採用予定人数

職 種	予定人数	受 験 資 格
薬剤師 診療放射線技師 臨床工学技士 言語聴覚士	それぞれ 1 人	①昭和47年4月2日以降に生まれた者 (平成24年4月1日現在40歳未満) ②資格を有する方又は、平成24年4月末までに取得見込みの方
看護師	10 人程度	

2. 採用予定年月日

平成 24 年 4 月 1 日

3. 試験の日時、場所及び合格発表

第 1 次試験 日 時：平成 23 年 9 月 18 日（日）午前 9 時～午後 4 時頃

場 所：羽咋市内（申込締切後、受験者あてに通知）

合格発表：平成 23 年 10 月中旬の予定（受験者全員に合否通知を郵送します）

4. 受験手続

申込書の請求 ①羽咋都市広域圏事務組合ホームページよりダウンロードできます

②窓口で直接受け取る場合

公立羽咋病院総務課、羽咋市役所総合窓口課、宝達志水町又は志賀町役場の各総務課において交付

③郵便で請求する場合

封筒の表に「職員採用試験請求」と朱書きし、120 円切手を貼った返信先明記の返信用封筒（角形 2 号、33 × 24cm 程度）を同封し、下記に請求して下さい

5. 受付期間

平成 23 年 7 月 11 日（月）から平成 23 年 8 月 19 日（金）まで

受付は午前 9 時から午後 5 時までで行います（土、日曜、祝日を除く）

◆提出先・問い合わせ先◆

羽咋都市広域圏事務組合公立羽咋病院 総務課 TEL (0767) 22 - 1220

〒 925-8502 羽咋市の場町松崎 24 番地

やすらぎコンサート

～フラダンスで元気に～

5月14日（土）のやすらぎコンサートは、『フィオカマレピカケ・フラさくらスタジオ』の皆様がフラダンスを披露していただきました。当日はよく晴れていて、情報プラザ前ホールにはさわやかな風が吹き抜け、素敵な衣装の柔らかなダンスに誘われ本当に南国にいるような心地でした。有り難うございました。



ありがとうございます

♥なぎさ表紙絵手紙

辻口 敦子様

♥写 真

羽咋写真協会の皆様

♥絵 画

羽咋美術協会の皆様

♥園児の絵

千里浜保育所

(看護師さんになったよ)

♥俳 句

宝達志水町若葦会

岡部和子様 他

♥季節のお花

患者家族様



いつも
きれいなお花を
ありがとうございます
ございます。

